6月定例会 討論

討論は、表決の前に議題となっている案件に対し、 賛成・反対の意見を表明することをいいます。

請願第4号 選択的夫婦別姓制度について国会審議を求める意見書を提出することを求める請願書

反対

石井 馨 議員

我が国は、夫婦と子どもが同一の氏を名乗り家族の一体感を保ってきた。請願にある「選択的夫婦別姓制度」は家族のあり方を根底から破壊し社会的混乱を招く。夫婦別姓制度を導入すれば親子別姓となり、子どもにとっても精神的な葛藤を生み、家族の一体感は失われる。世界は多種多様で世界との比較で日本だけが遅れているとの印象を与える文言は不適切で、スウェーデン等の現状を見ると導入はあり得ない。よって反対する。

賛 成

小林 均 議員

近年、女性の社会進出とともに、女性が結婚により改姓を余儀なくされることによる不都合や不利益を受けるケースが増えている。個人の多様な生き方を可能にする許容度の高い社会の構築が時代の要請であることを考えると、選択的夫婦別姓制度の導入は、喫緊の課題と言える。希望する人があれば、人々を画一的な枠に押し込めるのではなく、同姓を強制している現制度を見直し、選択肢を広げることこそ政治に課せられた責務である。ゆえに賛成する。

賛成

平 敏子 議員

家族のあり方は多様であって、当事者の自由な選択に任されるべき。賛成・反対などの様々な意見があったとしても「選択的」ですから、誰もこれによって不利益を被ることはないし、導入しない理由にもならない。夫婦同姓を強制する制度は、1898年(明治31年)明治民法の「家制度」でつくられ、戦後の新しい憲法で改められなかった。

この間の客観的情勢を直視し、選択的夫婦別 姓制度を望む声に応え、請願を採択すべき。

議員提出議案第1号 トリチウム及び放射性核種を含むALPS処理水の海洋放出方針決定に強く抗 議し決定の撤回を求める意見書の提出について

反対

石井 馨 議員

福島第一原発内に保管されているトリチウムを含む処理水は保管が限界に達している。今回示された毎年22兆ベクレル以下の海洋放出は国際基準に照らして適切である。政府に対しては正確な情報公開、風評を発生させないための行動、そして風評被害に対してはその補償を求めることこそが議会としての責務。対案を示さず反対を唱えるのは無責任。復興を進め双葉地方の方々が安心して住める状況をつくるためにも海洋放出を行うべきである。

6月定例会賛否一覧

(これ以外の案件等は全会一致で可決されました。)

番号	件名	議決結果	市政刷新会議						真誠会				市政会			日本共産党 二本松市議団			令和創 生の会			会派に 属さ議員		賛	反	
			野地	佐藤	鈴木	斎藤	平栗	佐藤	平塚與志一	佐久間	佐藤	坂本	堀籠	安齋	小野	熊田	斎藤	菅野	平	本多	小林	石井	加藤	本多		
			久夫	運喜	一弘	徹	征雄	源市	売	好夫	佐藤 有	和広	新一	政保	利美	義春	広二	明	敏子	俊昭	均	馨	建也	勝実	成	対
議員提出 議案第1号	トリチウム及び放射性核種を含む ALPS処理水の海洋放出方針決定に 強く抗議し決定の撤回を求める意見 書の提出について	原案可決	•	•	•	•	•	•	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	•	•	計	-		11	9
請願第4号	選択的夫婦別姓制度について国会審 議を求める意見書を提出することを 求める請願書	不採択	•	•	•	•	•	•	•	•	0	•	•	•	•	•	0	0	○討	0	○討	計	-		6	14

※○は賛成、●は反対、退は退席、討は討論がなされた案件

※議長(本多勝実)は採決に加わっていません。また、加藤建也議員は出席停止のため採決に加わっていません。